

令和4年度 探究特進科クラス 第1学年「総合英語 I」 学習進度・評価表

1 学期	4.5.6 月		7.8 月	
	中間考査	期末考査	考査後＋夏季課外	
	Unit 1 <i>What can happen in one second?</i> 内容設定目標 環境に悪影響を及ぼす人間の行動を知り、環境保護のための新技術を探究し、プレゼンすることができる。 言語設定目標 プレゼンの形式と言語表現を使用できる。	Unit 2 <i>What do superstitions mean to you?</i> 内容設定目標 迷信と文化のつながりについてグループで発表し、ディスカッションできる。 言語設定目標 ディスカッションの形式と言語表現を使用できる。	Unit 3 <i>How can we promote sustainability?</i> 内容設定目標 持続可能な社会のために自分たちができることをグループで探究し、プレゼンすることができる。 言語設定目標 E-mail の形式と言語表現を使用できる。	Optional Reading <i>Amelia Bedelia</i> 内容設定目標 自分の体験を発表できる。 言語設定目標 自分の体験を、聴衆の興味を引くように工夫して発表するための表現や時制の工夫ができる。
使用教材： ENRICH LEARNING English Communication I (東京書籍)	<u>知識・技能</u> 4つの要素をすべてのレッスンで評価する。 ○Reading 1,2 の内容を、写真や自分の感想も加えながら、パラグラフごとのサマライズと自分の言葉によるリテリングができる。 ○Listening 1,2 のディクテーションアクティビティ等による正確なリスニング情報のインプットと意味を理解した音読ができる。 ○やりとりや、プレゼンテーションに必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○プレゼンの典型的な形式を理解できる。	○Reading 1,2 の内容を、写真や自作の絵を用い、自分の感想を同時に入れながら自分の言葉でリテリングできる。 ○Listening 1,2 のディクテーションアクティビティ等による正確なリスニング情報のインプットと意味を理解した音読ができる。 ○やりとりや、ディスカッションに必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○事物の描写の典型的な形式を理解できる。	○Reading 1,2 の内容を、p46,47 の写真やネット上の写真を用い、感想を入れながら自分の言葉でリテリングできる。 ○Listening 1,2 のディクテーションアクティビティによる正確なリスニング情報のインプットと意味を理解した音読ができる。 ○やりとりや、プレゼンテーションに必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○Email の典型的な形式を理解できる。	○本文の内容を、「紛らわしい表現がもたらした誤解」に注目して、絵や感想を入れながら自分の言葉でリテリングできる。 ○起承転結や聴衆の興味を引くための表現を工夫して使用できる。
	<u>思考力・判断力・表現力等</u> 2つの要素をすべてのレッスンで評価する。 ○“Natto may stop desertification in the future.” についての質問からグループごとに探究活動を行い、ペア・グループでの情報交換を行うことができる。また、その際の「やりとり」を英語で行うことができる。 ○グループ探究の発表を、P20 にある Presentation の形式を用い、Visual Aid を用いて、工夫してプレゼンテーションできる。 ○プレゼン内容を英語でまとめることができる。	○迷信がその土地の文化や慣習の理解に役立つかどうか、について個別に探究活動を行うことができる。また英語で「やりとり」して質問を深めるためにペアでの情報交換をおこなうことができる。 ○探究した内容について、Visual Aid を用いてグループ内プレゼンテーション、ディスカッション活動を行うことができる。 ○探究した内容を、ディスカッションでの内容も含めて英語でまとめることができる。	○“Our behaviors can lead to sustainable society.” についての質問からグループごとに探究活動を行い、ペア・グループでの情報交換を行うことができる。また、その際の「やりとり」を英語で行うことができる。 ○探究した内容を Visual Aid を用いてグループごとにプレゼンテーションできる。 ○プレゼン内容 (中学生や他のクラスの生徒向け) を英語でまとめることができる。	○自分が体験した「紛らわしい表現がもたらした誤解」について、発表する。
	<u>主体的に学習に取り組む態度</u> 生徒の自己評価、生徒間評価、教員評価を合わせて行う。 ○グループ探究活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。	○グループ内でのディスカッション活動を積極的に行おうとする態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省点を見つけ、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度。	○グループ探究活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。	○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。

令和4年度 探究特進科クラス 第1学年「総合英語 I」 学習進度・評価表

	2学期	9. 10. 11 月		12月	
		中間考査		期末考査	考査後+冬季課外
		Unit 4 <i>What can we learn from native Hawaiians?</i> 内容設定目標 日本の言語や文化の重要性と、自身にとって「日本文化」が持つ意味をスピーチできる。 言語設定目標 スピーチの形式と言語表現を使用できる。	Unit 5 <i>Why do people tell each other stories?</i> 内容設定目標 好きな本やお勧めしたい本を他の人に推薦することができる。 言語設定目標 様々な推薦表現を使用できる。	Unit 6 <i>What are the qualities of a good leader?</i> 内容設定目標 リーダーの素質についてグループで探究し、プレゼンすることができる。 言語設定目標 自分の考えを論理的に説明するための表現を使用できる。	Optional Reading <i>Information Please</i> 内容設定目標 ある発明品とそれに関わる物語を、本文を参考にして創作できる。 言語設定目標 物語の形式や言語表現を使用できる。
使用教材： ENRICH	知識・技能 4つの要素をすべてのレッスンで評価する。	○Reading 1,2の内容を、p57の表やp60,61の写真、自作の絵を用い、自らの感想を同時に入れながらテーマごとにリテリングできる。 ○Listening 1,2のディクテーションアクティビティ等による正確なリスニング情報のインプットと意味を理解した音読ができる。 ○やりとりや、スピーチの後で行う質疑応答に必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○スピーチに盛り込む内容と形式を理解できる。	○Reading 1,2の内容のポイントを、p76,77の写真や絵を用い、自分の感想を同時に入れながら自らの言葉でサマライズできる。 ○Listening 1,2のディクテーションアクティビティ等による正確なリスニング情報のインプットと意味を理解した音読ができる。 ○やりとりや、ストーリーテリングに必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○効果的なストーリーテリングについて理解できる。	○Reading 1の内容を、自分の感想を同時に入れながらp90,91の写真や絵を用いて時系列でリテリングすることができる。 ○Listening 1,2のディクテーションアクティビティ等による正確なリスニング情報のインプットと意味を理解した音読ができる。 ○やりとりやプレゼンテーションに必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○自分の考えを論理的に説明する方法を理解できる。	○本文の内容を、「発明品が人々の生活にもたらした変化」に注目して、絵や感想を入れながら自分の言葉でリテリングできる。 ○聴衆の興味を引くための表現を工夫して使用できる。
LEARNING English Communication I (東京書籍)	思考力・判断力・表現力等 2つの要素をすべてのレッスンで評価する。	○"Japanese language and culture are important."についての質問から個別に探究活動を行い、質問を深めるためにペアでの情報交換を行うことができる。その際の「やりとり」を英語で行うことができる。 ○探究した内容を Visual Aid を用いてのグループ内スピーチと、それについての質疑応答活動を行うことができる。 ○スピーチ原稿を、福井県内の ALT に発表するために、英語でまとめることができる。	○高校に入学してから読んだ本について、ビブリオバトルを行い、実際に読んだ本を用いてのグループ内プレゼンテーションと、それについての質疑応答活動を行うことができる。 ○グループ内でどの発表がベストだったかについて、Reading 1の tips を参考にして、英語で理由を作成することができる。 ○個人ならびにグループで作った選択理由を英語でまとめることができる。	○"Good leaders have a lot of qualities."についての質問からグループごとに探究活動を行い、ペアでの情報交換・グループでの情報交換を行うことができる。その際の「やりとり」を英語で行うことができる。 ○探究した内容を Visual Aid を用いてグループごとにプレゼンテーションできる。 ○プレゼン内容(中学生や他のクラスの生徒向け)を英語でまとめることができる。	○世界を変えた発明品を選び、それに関わる人々の物語を、グループで創作することができる。 ○発表会を行い、reading report を英語で
	主体的に学習に取り組む態度 生徒の自己評価、生徒間評価、教員評価を合わせて行う。	○グループ内でのスピーチ活動を積極的に行おうとする態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。	○個人の発表やグループ内でのディスカッション活動を積極的に行おうとする態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省点を見つけ、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度。	○グループ探究活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。	○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。

令和4年度 探究特進科クラス 第1学年「総合英語Ⅰ」 学習進度・評価表

3 学期	1.2 月		3 月	
	学年末考査		考査後＋冬季課外	
	Unit 7 <i>Where will you live in the future?</i> 内容設定目標 日本の言語や文化の重要性と、自身にとって「日本文化」が持つ意味をスピーチできる。 言語設定目標 スピーチの形式と言語表現を使用できる。	Unit 8 <i>How do cultures and traditions affect teen's lives?</i> 内容設定目標 勝山高校を良くするための提案をすることができる。 言語設定目標 比較、提案や要求の表現を使用できる。	Optional Reading <i>Oxford BOOKWORMS</i> より (夢を叶えた人に関する物語) 内容設定目標 自分の将来の夢や目標について発表できる。 言語設定目標 意思や計画を述べる表現を使用できる。	
使用教材： ENRICH LEARNING English Communication I (東京書籍)	知識・技能 4つの要素をすべてのレッスンで評価する。	○Reading 1,2 の内容を、p106,107 の写真や絵を用い、感想を同時に入れながら要約できる。 ○Listening 1,2 のディクテーションアクティビティ等による正確なリスニング情報のインプットと、意味を理解した音読ができる。 ○ <u>やりとり</u> や、プレゼンテーションに必要な機能的表現を理解し、使用できる。 ○考えを合理的に説明する英文エッセイの形式・ディベートの形式を理解できる。	○本文の内容を、「どのように夢を叶えたか」に注目して、絵や感想を入れながら自分の言葉でリテリングできる。 ○聴衆の興味を引くための表現を工夫して使用できる。	
	思考力・判断力・表現力等 2つの要素をすべてのレッスンで評価する。	○“Where would you like to live, in a big city or a countryside?” について30代と50代に分け、自分の思いを証拠とした具体的・合理的な理由とともに述べる事ができる。その際の「やりとり」を英語で行うことができる。 ○上記テーマでディベートを行うことができる。Visual Aid を用いるなど各グループでプレゼンテーションを工夫することができる。 ○ディベート原稿を、質問の回答や反駁も含めて英語でまとめることができる。	○“Schools in Japan have a lot to improve.” についての質問から個別に探究活動を行うことができる。質問を深めるためにペアでの情報交換を、その際の「やりとり」を英語で行うことができる。 ○探究した内容を Visual Aid を用いてグループ内プレゼンテーションを行い、それについてディスカッション活動を行うことができる。 ○最終プレゼンテーション原稿を英語でまとめることができる。	○自分の将来の目標や、それに向けてすべきことをスピーチできる。また、スピーチ内容に関する質疑応答を英語で行うことができる。 ○スピーチ原稿を英語でまとめることができる。
	主体的に学習に取り組む態度 生徒の自己評価、生徒間評価、教員評価を合わせて行う。	○ディベート活動で、他のメンバーと協力して積極的に行おうとする態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。	○グループ探究活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。	○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。